

# 自分の成長が実感できる NIE 実践の開発

## ～NIE の 4 分野のバランスに着目して～

広島大学附属中・高等学校 鶴田 輝樹

### 1. はじめに

本校は、NIE 実践に取り組み始めて 7 年目を迎えた。毎年、社会科・歴史総合の授業を中心に、総合的な学習の時間やクラブ・委員会活動においても積極的に新聞を活用している。生徒から出た意見を参考に、授業内容やカリキュラムを見直しながら、新たな実践の開発に努めている。また、中高生の新聞離れが進む中、少しでも多くの生徒から新聞に対するマイナスのイメージを払拭し、新聞の特色や魅力に気付いてもらえるよう工夫を重ねている。2025 年度は、これまで取り組んできた NIE 実践を継続しつつ、あらためて生徒が自分自身の成長を実感できるような NIE 実践の開発をめざした。

### 2. 実践計画

日本新聞協会 NIE コーディネーターの関口修司氏は、NIE を 4 つの分野に分類し、それぞれの学習活動によってどのような資質・能力が涵養・育成・習得されるのかを提唱されている(図 1)。

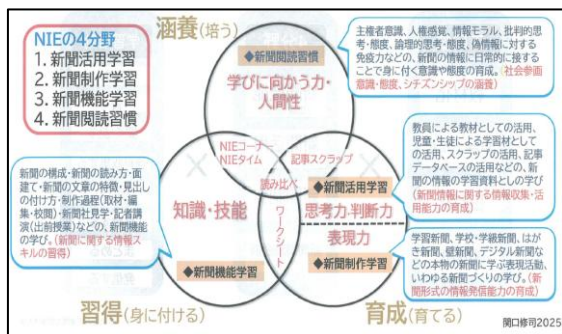


図 1 関口氏が提唱する NIE の 4 分野<sup>1)</sup>

実践者は、関口氏が示された「新聞読解習慣」・「新聞機能学習」・「新聞制作学習」・「新聞活用学習」のバランスを意識して NIE を実

践することで、知識・技能、思考力・判断力、表現力、学びに向かう力・人間性を生徒たちに総合的に育成することをめざした。主な学習活動やねらい等の詳細については本稿末尾に示した(資料 1)。

### 3. 実践内容

#### (1) 新聞読解習慣

##### ① Google Classroom を活用した記事の共有

生徒たちにより多くの新聞記事に触れてもらい、地域・日本・世界の今日的課題の原因や解決策について考えてもらうために、Google Classroom を活用して、実践者推薦の記事内容を共有する取り組みを進めた。内容については、授業内容に関係するものや、ネット記事ではあまり見られない地方(広島市)のニュース、高校生に関係するような新聞記事を優先的に載せるよう心掛けた。また、定期テスト毎に気になる記事の感想を書いてもらうことで、新聞読解の習慣付けを行った。

##### ② 学校図書館での NIE コーナーの設置

昨年度に引き続き、日本新聞協会より主要全国紙等を 4 か月(5～6 月、10～11 月)送っていただくことができた。実践者は、図書館事務職員と連携しながら、学校図書館の一角に NIE コーナーを設け、8 紙を一覧できるようにレイアウトし、毎日更新した。新聞を定期購読していない家庭の生徒には新聞を自由に持ち帰れる仕組み作りも行った。

また、高校 1 年生に、学校図書館に所蔵されている本を対象にした「書評」を書いてもらい、全校生徒に見てもらおうような取り組みも行った。この内容については、学校図書館のホームページにも掲載をした。

## (2) 新聞機能学習

### ①新聞の構成・読み方に関する解説授業

まだ新聞を読むことに慣れていない、中1や高1の生徒に対して、社会科や歴史総合の時間を使って、新聞の基本的な構成等について簡単な解説授業を行った。生徒は新聞における文章の書き方が、論理的な文章を書く際に大いに参考になることを実感していた。

### ②新聞コンクールを活用した新聞の構成理解

新聞に関する知識がある程度身に付いたところで、日本新聞協会が主催する「いっしょに読もう！新聞コンクール」の作品作りに取り組んだ。自分の気になる記事をまわりの人と共有して、意見をもらい、あらためて自分の考えをまとめるという活動は、他者との対話から、自分の意見や考えが変容することを意識する良い機会となっており、毎年継続的に応募している。

### ③専門家による出前授業

学年のHR活動の一環として、メディアに関わる専門家の方々による出前授業を実施した。具体的には、中国新聞社・中国放送(RCC)・株式会社ビデオリサーチの方にお越しいただき、メディアの魅力や情報の受け手がどのようなことに注意すべきかについて話をいただいた。受講後、生徒からは、「自分の普段のメディアの活用の仕方を振り返る良い機会となった」という意見が多く聞かれた。



各メディアの専門家による出前授業の様子

## (3) 新聞制作学習

### ①SDGsをテーマとしたオリジナル新聞等の制作

夏休みの課題として、SDGsをテーマに、中学1～3年生はオリジナル新聞を制作した。中1の頃から継続的に取り組むことによって、生徒自身も自らの文章力や表現力の成長を実感することができているようだった。完成したオリジナル新聞は、中国新聞社が主催する「みんなの新聞コンクール」に応募した。外部評価を頂けることは、生徒の学習意欲を高めることにもつながっている(表1)。

### ②SDGsをテーマとしたICTを活用したオリジナル新聞等の制作

新聞の制作については、「みんなの新聞コンクール」への応募作品だけでなく、新聞制作アプリ「ことまど」を活用した紙媒体以外の新聞でも行った。生徒からは、「予め様々な新聞のフレームワークが準備されているため取り組みやすかった」という感想が多く聞かれた。また、パソコン上で生徒同士が新聞を共有できたことは、生徒が自らの学習成果を相対的に評価することにつながった。



高校生が「ことまど」で制作した新聞の一部

### ③ユネスコ班(クラブ活動)として行ってきたこれまでの活動をまとめた壁新聞の制作

ユネスコ班の活動として行ってきた、平和活動や環境問題に対する取り組みについて、多くの人たちに知ってもらうために壁新聞を制作した。完成した壁新聞は文化祭で展示し、同級生や保護者だけでなく、文化祭に来られた一般の方々にも自分たちの調べたことや考えたことなどを広く発信することができた。



これまでのユネスコ活動をまとめた壁新聞

#### ④ 平和記念公園に関する英字新聞制作及びインバウンドへの配付

クラブ活動の一環として毎年実施している平和記念公園の碑巡りで学んだことに、自ら行った取材内容を加えた英字新聞をユネスコ班員自身が制作し、8月15日に平和記念公園でインバウンドの方に配付する活動を行った。学校外で行う取材活動や英字新聞の配付は、生徒の印象にも強く残り、次の平和活動に向けたモチベーションにもつながっていた。また、この英字新聞は長崎の生徒や、海外からの本校への訪問者の方とのコミュニケーションツールとしても活用した。



生徒が作成した英字新聞(左)  
英字新聞を配付している生徒の様子(右)

#### ⑤ 平和に関するはがき新聞の制作

ユネスコ班の生徒を中心に NIE 公開セミナーに参加し、被爆体験者のお話を聞かせてい

ただいた。また、その内容を踏まえ、はがき新聞の制作も行った。参加した生徒からは、「より多くの生徒とこの経験を共有したい」という意見が多くあったため、今後学年全体の取り組みとして検討したいと考えている。



NIE 公開セミナーの様子

#### (4) 新聞活用学習

##### ① 万博をテーマにした「社説」の読み比べ

「歴史総合」は、近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うことが目標として示されている。

実践者は 2025 年に開催された、大阪・関西万博をテーマに、万博閉会翌日の各紙の社説を生徒に読み比べさせ、30年後の地球社会について創造する授業(図 2)を行った。

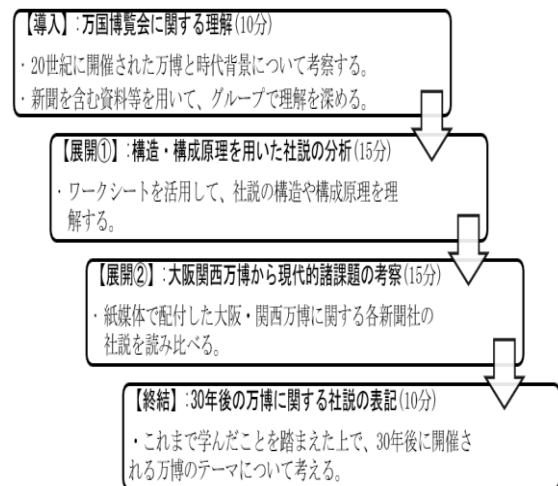
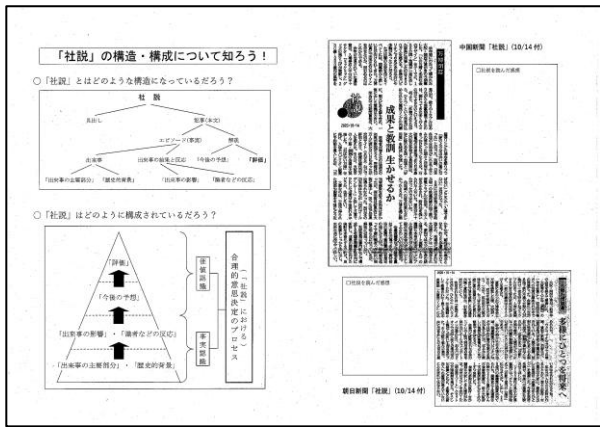


図 2 万博をテーマにした授業の流れ  
(校内研究授業として実施)

万博に対する、新聞社それぞれの考えに触れることで、自分一人では見えていなかった、現代的諸課題に対する認識を深めていた。



「社説」を活用した授業用ワークシート

## ②新聞記事の中に登場する人や物、場所への取材

平和活動等に興味関心のある生徒が多い、ユネスコ班を対象に、実践者自身が選んだ記事内容を生徒と共有する活動を行った。その中で、原爆ドームの保存に携わり、現在、旧広島陸軍被服支廠の保存工事の責任者をされている清水建設の高橋さんの新聞記事に生徒たちが興味を示したため、学校として取材の許可取りを行い、現地でインタビューさせていただいた。直接対面させていただくことで、新聞記事には掲載されていない貴重なお話を数多く聞かせていただいた。取材内容等については日本 NIE 学会第 22 回愛知大会においてオンライン発表を行い、生徒研究発表会研究奨励賞を受賞することができた。



2025年6月21日付 中国新聞から(左)  
旧広島陸軍被服支廠での取材活動の様子(右)

生徒たちは取材を通して、原爆ドームに関してそれまで知らなかった様々な事実に加え、被爆建物を残すことの意義やそれに携わる方の思いに感銘を受けていた。また、今回のインタビューを通じて被爆建物に興味を持った生徒たちは、自ら広島市内にある別の建物を調べ、自らの足で情報を収集していた。

生徒からは、「普段見慣れている原爆ドームや被爆建物について、まだまだ知らないことが多いことを実感した」等の感想が聞かれた。

## ③新聞コンクールに向けた新聞記事の活用

夏休みの課題(高校生対象)として、新聞切り抜き作品と新聞感想文作りに取り組んだ。特に新聞切り抜き作品は、自分の興味があるテーマに関する記事スクラップを収集し、新聞の情報を学習資料として活用するため、生徒自身の思考力や表現力の育成につながった。完成品は中学生と同様の新聞コンクールに応募することで、学習自体のモチベーションアップにもつながっていた。



高校生が制作した新聞切り抜き作品の一部

## 4. 成果と課題

本実践では、NIEの4分野に着目し学習計画を進めたことで、特定の力に偏ることなく、知識・思考力・学びに向かう力等を生徒たちにバランス良く育成することができた。一方で、まだまだ新聞が情報ツールや学習材として生徒に定着しているとは言いがたい状況も見られる。今後も、生徒たちが自らの成長を実感でき、深い学びを引き出せる NIE 実践の開発をめざしていきたい。

表1 2025年度の新聞コンクールの結果

コンクール名	部門	成果
第25回中国新聞「みんなの新聞コンクール」	ジュニア新聞	最優秀賞…1名/広島県知事賞…1名/入選…5名/佳作…4名
	新聞切り抜き作品(高校生)	最優秀賞…1名/広島県知事賞…1名/入選…3名/佳作…1名
	新聞感想文(高校生)	広島県教育委員会賞…1名/入選…1名/佳作…13名
第16回「いっしょに読もう!新聞コンクール」	中学生部門	奨励賞…1名
	高校生部門	奨励賞…1名
	学校奨励賞	広島大学附属中・高等学校

【注】

1) 第30回 NIE 全国大会神戸大会における NIE コーディネーター関口修司氏の発表資料より引用。

【参考文献】

- ・日本 NIE 学会編、『探究の学びを拓く NIE—多様性の中の確かな指針として—』、京都新聞出版センター、2024 年。
- ・メアリアン・ウルフ 大田直子訳、『デジタルで読む脳×紙の本で読む脳』、インターシフト、2020 年。
- ・読売新聞大阪本社社会部、『情報パンデミック』、中央公論新社、2022 年。
- ・『NIE ガイドブック 高等学校編』、日本新聞協会、2022 年。

資料1 2025年度 NIE 実践の概要

NIEの4分野	対象生徒	科目名等	主な学習活動等	実施時期	学習のねらいや目的
新聞読習	高1	社会・歴史総合	Google Classroom上に教員がSDGs関連の記事内容(平和をテーマにしたものを中心に)をアップし、共有する活動	通年	・現在地域や世界で起こっている様々な事象について関心を持ち、特に平和について意識を高め、平和を実現するために何かできるのかについて考える態度を涵養する。
	全校生徒		学校図書館でのNIEコーナーの設置(新聞展示・書評)	通年	・特に定期購読していない家庭の生徒には、まずは新聞を手取る経験を涵養する。 ・学校図書館の一角に設置されたNIEコーナーを活用し、新聞の情報に日常的に接することで、現代的諸問題について知ろうとする意識や態度を培う。
新聞機能学習	高1	社会・歴史総合	新聞の構成・新聞の読み方に関する解説授業	4月	・新聞紙面の構成や、取材、記事の書き方、見出しの付け方等、新聞に関わる基本的なことを学ぶことで、新聞に関する情報スキルを習得する。
	高1	社会・歴史総合	新聞コンクールを活用した新聞の構成理解 ⇒「いっしょに読もう!新聞コンクール」への応募	4~6月	・家族や友だちといっしょに記事を読むことで、新聞の構成自体を理解するとともに、感想・意見を書いて記事とともにコンクールに応募することで、思考力・判断力・表現力を身に付ける。自分一人の感想・意見の表明だけでなく、周囲の人の意見も聞いて、多面的に物事を考える力を習得する。
	高1	HR活動	専門家による出前授業(新聞社・テレビ局)	11月	・学年でのHR活動(キャリア教育・メディア教育)の一環として、新聞社やテレビ局の方から、それぞれのメディアの特徴等を講義してもらい、各メディアに関する情報スキルを習得する。
新聞制作学習	中3	社会・歴史総合	SDGsをテーマとしたオリジナル新聞等の制作 ⇒中国新聞「みんなの新聞コンクール」ジュニア新聞の部への応募	7~8月	・新聞紙面の構成や、取材、記事の書き方、見出しの付け方等、新聞に関わる基本的なことを学んだうえで、読み手に分かりやすい新聞紙面を作ることで、判断力・表現力を身に付ける。 ・新聞形式の情報発信能力を育てる。
	高1	歴史総合	SDGsをテーマとしたICTを活用したオリジナル新聞の制作 ⇒神戸新聞社主催「ことまど新聞コンクール」への応募	12~1月	・新聞紙面の構成や、取材、記事の書き方、見出しの付け方等、新聞に関わる基本的なことを学んだうえで、読み手に分かりやすい新聞紙面を作ることで、判断力・表現力を身に付ける。 ・生徒自らがICTを活用してオリジナルの新聞を制作することで、情報スキルを習得をめざす。
	高1	(ユネスコ部活動)	ユネスコ班として行ってきたこれまでの活動をまとめた壁新聞の制作	7~9月	・平和記念公園の碑巡りを中心に、元宇品や宮島でのビーチクリーン活動・世界のフェアトレード・本校のユネスコス活動等について、新聞の形でまとめることで自分たちの活動を振り返るとともに、文化祭において多くの人に世界の諸問題について知ってもらい、平和について発信する。
	高1		高2	平和記念公園での碑巡りで学んだ成果を英字新聞にしてインバウンドの方に配付する活動	8月
新聞活用学習	高1	歴史総合	万博をテーマにした「社説」の読み比べ	5月	・大阪・関西万博に関する各新聞社の社説を読み比べ、その内容を参考にしながら、より良い社会の実現に向け、新たな価値を創造していこうとする課題意識を育てる。
	高1	部活動	新聞記事の中に登場する人や物、場所への取材	7月	生徒自身が関心を持った新聞記事に取り上げられていた人物(原爆ドーム保存工事の関係者)を取材し、被爆建物を保存することの意義について考え、平和に対する認識を深める。
	高1	社会・歴史総合	新聞コンクールに向けた新聞記事の活用 ⇒中国新聞「みんなの新聞コンクール」新聞切り抜き作品・新聞感想文の部への応募	7~8月	・新聞紙面の構成や、取材、記事の書き方、見出しの付け方等、新聞に関わる基本的なことを学んだうえで、読み手に分かりやすい新聞紙面を作ることで、判断力・表現力を身に付ける。 ・気になる新聞記事のスクラップ等を活用して、情報を発信する能力を育てる。